



「寄せ鍋型ワークライフデザイン」

去る2月15日、文化プラザにおいて、NPO法人ファザリング・ジャパン代表の安藤哲也さんを迎えて、男女共同参画講演会を開催しました。

安藤さんが提唱する「寄せ鍋型ワークライフバランス」について紹介します。

聴講された方からは、「父親が子育てに参加する必要性を学べた」「パパには仕事があるからと一人で子育てを抱え込んでいたけど、子どもから手が離れた時のことを考えたら、今からもっと社会に出て活躍したくなった」などの感想が寄せられました。



「ワークライフバランス」と聞くと、片方にワーク（仕事）があり、もう一方にライフ（生活）があり、そのバランスをとる「天秤」をイメージしがちです。しかし、「天秤」はどちらかを優先させると、他方が犠牲になってしまい、バランスが崩れてしまいます。

「天秤型」ではなく、「寄せ鍋型」という人生の考え方をおすすめします。人生を寄せ鍋に例えると、具材として仕事や育児、介護、地域活動、趣味があり、一緒に煮込むことでそれぞれの味がブレンドされ相乗効果が生まれます。仕事の能力を地域活動で発揮したり、子育ての経験を仕事で生かしたりできます。そして美味しい寄せ鍋には、また新しい人が新しい具材を持って遊びに来てくれて、ますます人生の味が深まります。これから「人生100年時代」が到来するといわれています。今仕事ばかりだと、定年退職した時にやる事が無い。子育てばかりだと、子どもが親離れた時に何をしたいのか分からない。そうならなために必要なのは、「寄せ鍋型ワークライフバランス」の考え方を一緒に人生100年時代を楽しみましょう。

〈他人事じゃない!? 怖〜いトラブル〉

消費生活のお話

生活環境課（内線172）

高齢者サポートサービス契約でトラブルにならないために

高齢者を対象とする、身元保証や日常生活、死後の手続きなどを行うサービスが広まってきています。

契約したので、今後は心配なく安心して生活を送れると思っていたが、期待通りのサービスを受けられなかったという相談が寄せられています。

事業者によって提供されるサービス内容はさまざまです。契約前に、自分が希望するサービスが提供されるか、また、費用は生活の負担にならないかなど、契約内容を十分検討する必要があります。

死後の手続きについては自身でサービスの実施状況を確認することができないため、より具体的に契約内容を確認しましょう。また突然の事故などが起きた時に備えて、契約しているサービス内容や事業者の連絡先を周囲の人に伝えておく、または、見やすいところに掲示しましょう。

少しでも不安に思ったら、消費生活相談窓口にご相談ください。



消費生活相談窓口

場所 市役所1階 生活環境課

日時 月～金曜日・午前9時～午後4時（予約優先）

※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。